

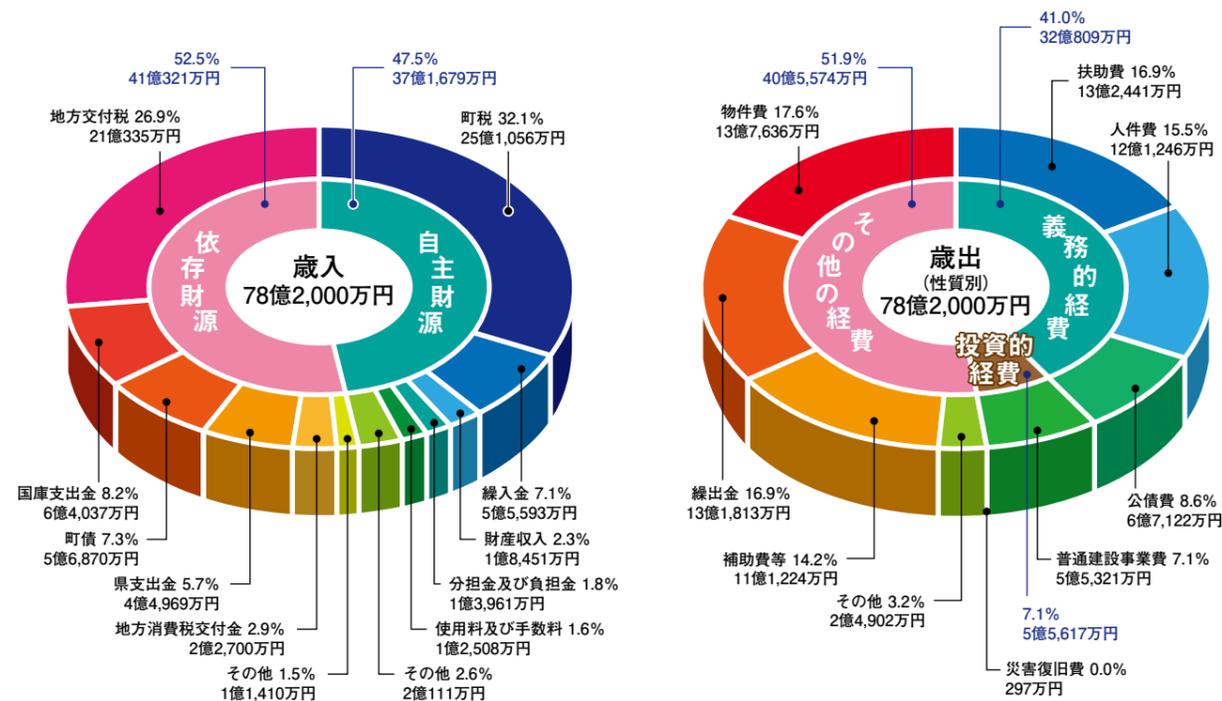
25年度予算を家計に例えると…

家計簿（年間の収支が500万円の家庭だったら…）

収入		支出	
給料（町税）	161万円	食費（人件費）	78万円
パート収入（使用料・手数料など）	17万円	光熱費など（物件費・補助費）	159万円
親からの援助（交付税・国県支出金）	219万円	医療費（扶助費）	85万円
預金の取り崩し（繰入金）	35万円	借金の返済（公債費）	43万円
預金利子（財産収入）	12万円	家の増改築など（建設事業費など）	35万円
銀行からの借入（町債）	36万円	子どもへの仕送り（他会計への繰出金）	84万円
その他	20万円	貯金（積立金）	10万円
合計	500万円	合計	500万円

※端数は一部繰り上げています。

平成25年度一般会計予算の内訳



※一円未満は四捨五入しており、合計額が一部一致しません。

平成25年度一般会計当初予算

78億2千万円

全員賛成で可決

前年度比 **2億5千万円の増額** 伸び率 **3.3%**

一般会計の当初予算は、歳入歳出総額78億2千万円、過去最大の予算額となりました。

歳入において、町税の個人住民税は、若干の雇用・消費の上昇を見込み1%増、法人町民税は2.8%増、固定資産税は24年中の家屋の新築が増収要因となり、1.8%の増です。町税全体では、1.6%増、3989万円の増収を見込んでいます。

国家予算の2割を占める地方交付税は、前年度と同水準となるよう確保されたことから、21億300万円を計上しています。

国庫補助金については、事業費1億1200万円を対象として、社会资本整備総合交付金6160万円の交付を受け、通学路の交通安全施設整備や道路改良工事の財源とします。

町債は臨時財政対策債を1800万円増額し、5億6870万円としています。

歳入歳出予算の財源不足については、財政調整基金の取り崩し5億3千万円を繰入れ対応しています。

歳出において、人件費では、職員給与が625万円の減額ですが、退職手当組合や共済組合の負担率引き上げにより、総額では2152万円の増額となっています。

道路整備をはじめとする基盤整備事業などの普通建設事業費は、24年度（第二幼児園建設費約5億円を除く）と比較すると、約1億8千万円の増額となります。城山団地等の道路改良、舗装改良の事業費1億9500万円、第一学童保育所建築事業費6千万円などが主な事業です。

一般会計から特別会計などへの繰出金は依然として増え続ける傾向にあります。民生費の国民健康保険特別会計繰出金は2億1100万円となり、今年度から当初予算に計上したため、予算総額増の主な要因となりました。

3月
定例会

平成25年第1回定例会は、3月4日から22日までの19日間で行われ、提案された議案28件は、原案のとおり可決・承認されました。

過去最大の予算を可決

平成25年度各会計当初予算

会計区分	25年度予算額	24年度予算額	比較(%)	可・否	
一般会計	78億2,000万円	75億7,000万円	3.3	全員賛成で可決	
特別会計	国民健康保険	32億8,004万円	29億9,308万円	9.6	全員賛成で可決
	後期高齢者医療	2億5,969万円	2億4,541万円	5.8	全員賛成で可決
	公共下水道事業	11億8,591万円	11億767万円	7.1	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	8,898万円	8,033万円	10.8	全員賛成で可決
水道事業会計	収益的支出	5億7,880万円	5億6,125万円	3.1	全員賛成で可決
	資本的支出	2億6,040万円	2億1,254万円	22.5	